

よこはま若者サポートステーション との連携のお願い

特定非営利活動法人 ユースポート横濱



連携をお願いしたいこと①

働く不安を抱えた若者が一歩を踏み出すきっかけづくり

- ・ 就労体験（ジョブトレニング）の受入れ
- ・ アルバイト向けインターンプログラム実施
- ・ 企業説明会・見学会の実施

地域若者サポートステーションとは（通称：サポステ）

全国177か所ある、若者のための就労支援施設です



- 厚生労働省が設置する無業の若者の職業的自立をサポートする事業（2006年度～）
- 働くことに悩みを抱える15歳～49歳までの方を支援
- NPO法人、株式会社、社団法人、財団法人、学校法人などが委託を受けて運営

一人ひとりに寄り添った支援です

- それぞれの状況に応じた個別的、継続的な支援を行う

地域と若者をつなぎます

- 他の支援機関や行政機関、教育機関、協力企業など地域のネットワークと連携

こんな方がご利用になっています

働くことに
自信が
もてない

仕事の選
び方がわ
からない

最後に
働いてから
時間が
たっている

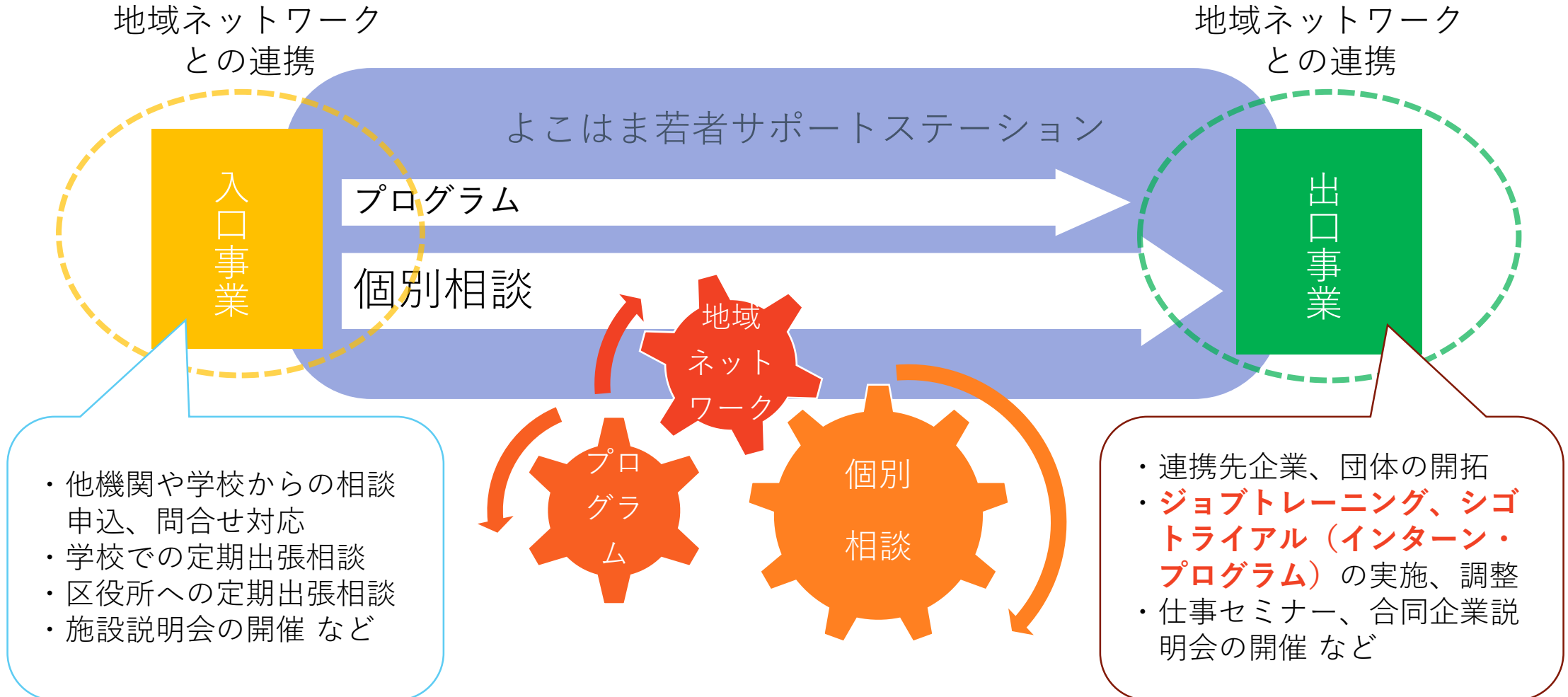
就職活動の
進め方が
わからない

仕事が長
続きしな
い

これまで
一度も
働いたこ
とがない



よこはまサポステの支援体制



事例（未経験の若者がアルバイトへ）

体験前

- 17歳女性。中学時代より不登校。定時制高校に進学。
- 授業の単位はしっかりとれているが、卒業後の仕事のイメージがつかない。
- 職場の人とうまくコミュニケーションがとれるのか不安。

体験中

- お弁当屋さんで調理補助の【**職場体験**】。家で夕食作りの手伝いをしており、料理に興味があった。
- 最初はとても緊張しており、発言が少なかった。慣れてくると作業を上手にこなし、職場の方から褒められるように。次第にリラックスして、会話が増えてきた。

体験後

- コミュニケーションの不安が軽減され、アルバイトを始める自信がついたが、面接は不安。
- その後【**アルバイト向けインターンプログラム**】に参加し、スーパーのお惣菜作りをインターンで体験、体験先から働きぶりを評価され、アルバイトを開始した。

事例（職場に不安のある方が自信回復し復職）

体験前

- 30代男性。大卒後、IT関連企業に就職もうつ症状により辞職。
- 数年の療養を経て体調回復し医師より就労許可が出ているが、復帰に不安がある。

体験中

- 未経験の倉庫内事務職で【**職場体験**】。伝票整理やデータ入力に取り組む。
- 体験先社員の方と少しずつコミュニケーションが取れるように。
- 週に2回の体験からはじめ、週4回まで段階的に日数を増やす。安定して通えることが確認できた。

体験後

- 無理なく働けるペースや内容が体感でき、再就職活動を開始した。
- 実習の経験を活かし、物流関連企業でITスキルを活かせる職種を応募先として検討。【**企業見学会**】に参加し、実際の仕事内容や職場の雰囲気を確認したうえで、応募し、採用となった。

連携をお願いしたいこと②

働く課題を持つ若者を理解・支援するプロジェクトを
共に創っていただける事業所様

例) 横浜市社会福祉
協議会様との協同事業
「私たちの声を届けよう
プロジェクト」 (実施中)

《私たちの声を届けようプロジェクト》 ワークショップのご案内

企画概要

ワークショップは、①「サポステ利用者座談会」と②「利用者&企業ワークショップ」の2日間の構成になっています。

①「サポステ利用者座談会」

なぜ働くことに不安があるのか、サポステに通いながら日ごる感じていること、考えていることなどを自由な雰囲気話し合いをします。まずはお互いを知られるようなミニゲームからはじめていきますので、語ることが得意ではない方も参加OKです。ひょっとしたら同じような想いを抱いている誰かに出会えるかもしれません。

②「利用者&企業ワークショップ」

「サポステ利用者座談会」で出た声を振り返りつつ、実際に若者のことを知りたいと思っている企業の代表者の方にも参加いただき、今後どんな風に社会が変わってほしいかなどを、利用者と企業が一緒に考えていきます。



連携をお願いしたいこと（再掲）

- 働く不安を抱えた若者が一歩を踏み出す
きっかけづくり
- 働く課題を持つ若者を理解・支援するプロ
ジェクトの企画・実施